

共同獣医学部学術セミナー

演題：マダニ媒介性病原体のマダニ体内での生存戦略の解明を目指して

講師：高野 愛 先生（山口大学共同獣医学部 獣医疫学）

日時：令和6年11月14日（木） 16:00～

場所： 獣医学研究科棟 4階 大講義室

講演要旨：

マダニは、その成長や生殖のために生涯で複数回の吸血が必須であり、この吸血に際し、多数の微生物を吸血源動物との間でやり取りしており、その一部がヒトや家畜に被害をもたらす病原体として認識されている。その中には重症熱性血小板減少症候群ウイルスやダニ媒介性脳炎ウイルスなど致死性の高いウイルスや、患者数が近年増え続けている日本紅斑熱リケッチアなども含まれている。

このようなマダニ媒介性の病原体は、哺乳類体内での動態は比較的研究が進んでいるが、マダニ体内での動態はほとんど解析が進んでいない。その理由として、病原体封じ込めレベルが高い事や培養が難しいなど取り扱いが難しい病原体が多いこと、ベクターであるマダニの取り扱いが難しい事などが挙げられる。

当研究室では、これら取り扱いが難しいマダニ媒介性病原体に特化した研究を推進している。本セミナーでは、その一部、特に近年立ち上げたBSL3病原体を用いた研究を中心にご紹介したい。

問合せ先：早坂（内線5887）